

平成25年度 産学連携評価モデル・拠点モデル実証事業 成果報告会

国立大学法人 東京医科歯科大学

20140305

モデル構築事業

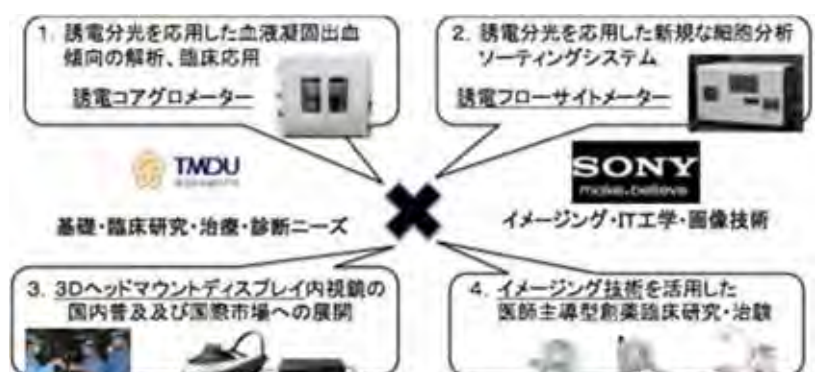
- (1) 医学系産学連携活動の
評価制度(PDCAサイクル)のモデルの構築
- (2) 産学連携促進の為の
制度改革等新たな取組となるモデルの構築

指標を用いたデータ収集と分析
分析結果に基づく産学連携傾向や特徴(強みや弱み)の分析

モデル実証事業

評価指標から見えてきた特徴(強みや弱み)を踏まえた産学連携戦略

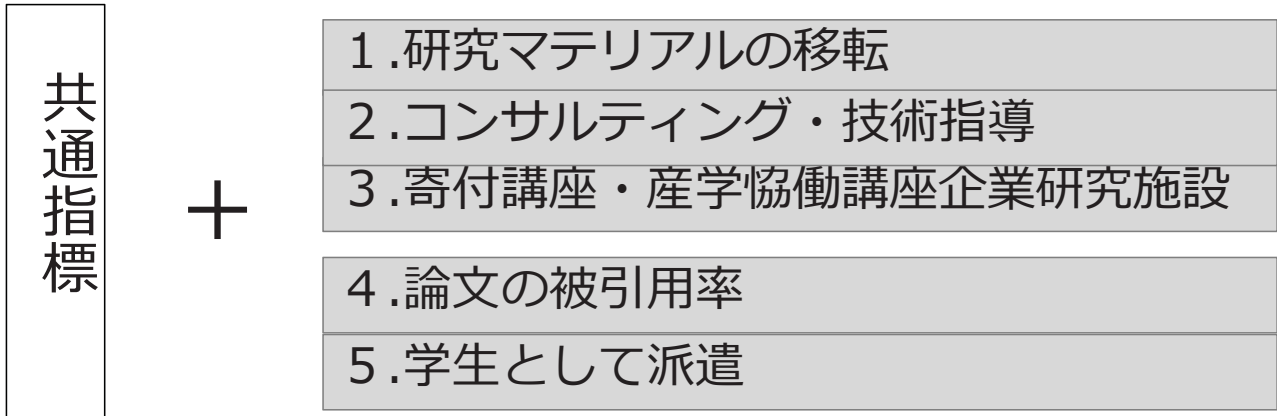
TMDU・ソニー包括連携産学連携拠点における、
研究テーマ「ビジュアルライズド・メディシン」でのモデル実証



(1)医学系産学連携活動の評価制度(PDCAサイクル)モデルの構築

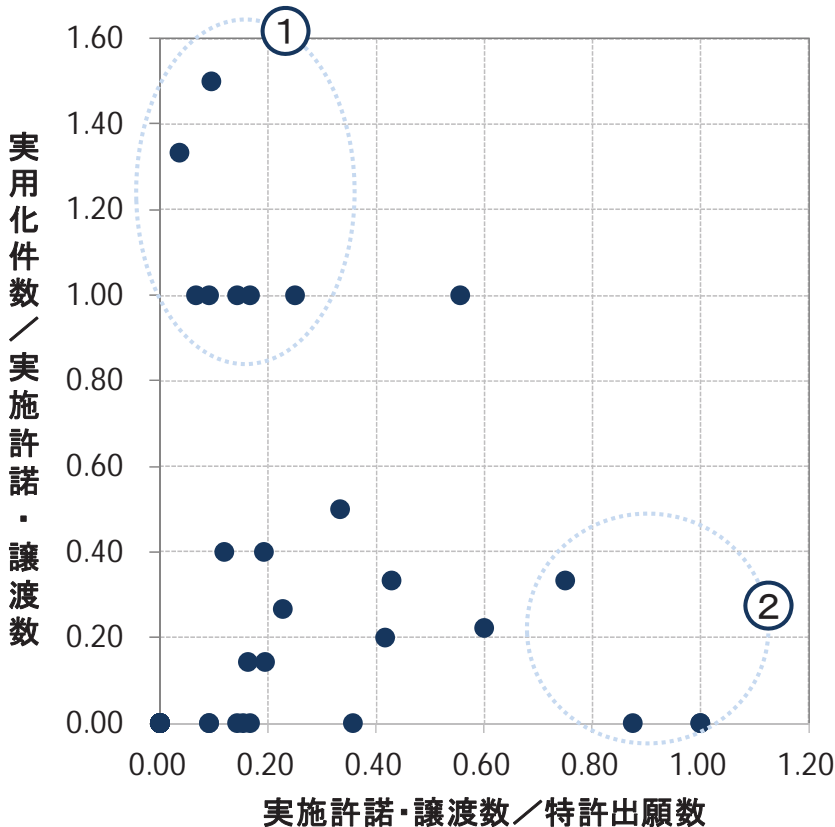
・・・医学系大学における評価指標案の策定（共通指標+追加指標）

【調査】医・歯・薬学部およびその大学院を有する全国74大学へのアンケート調査
国内3大学+海外6大学へのヒアリング調査



抜粋：指標特性の検討

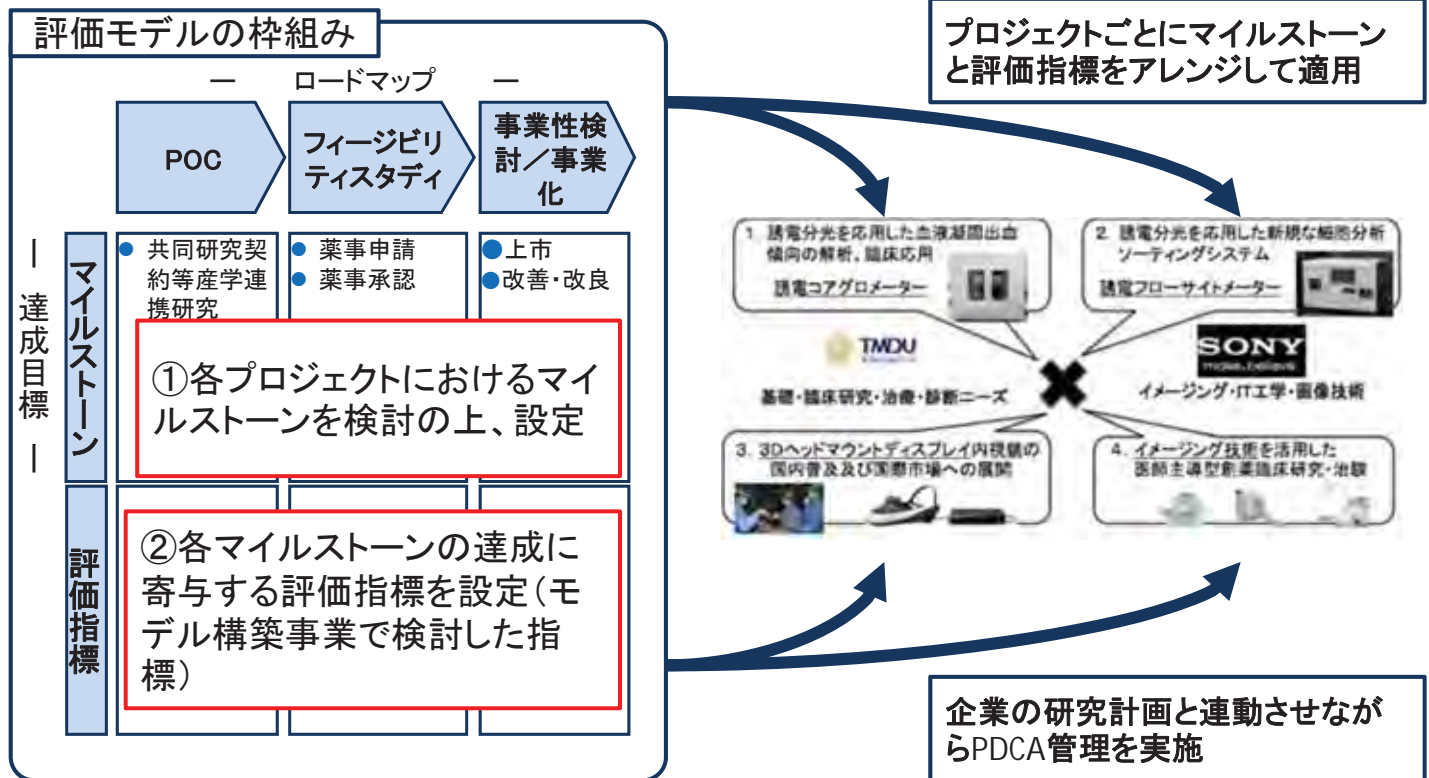
「実施許諾・譲渡数/特許出願数」と「実用化件数/実施許諾・譲渡数」



- ① **仮説**：医薬品と比べて実用化のハードルが低い医療機器に関する実績がある（一部の大学に対してヒアリングで検証済）
- ② **仮説**：企業側が防衛特許と位置付けているか、もしくは実用化へのハードルが高い医薬品に注力している

仮説として、同じ指標でも分野によって特性が変わる可能性がある
⇒ **医薬品・医療機器等の領域に分けて実績を把握することの必要性が示唆**

評価モデルの枠組みの各プロジェクトへの適用



医療用ヘッドマウントディスプレイ

技術概要

- 内視鏡像をヘッドマウントモニターに表示する技術
- ソニー株式会社がAV機器向けに開発したヘッドマウントディスプレイを医療現場のニーズに最適化した
- 本技術により手術時のハンズフリー化や自由な姿勢で作業を可能にし、内視鏡手術の作業環境の大幅な向上を実現



アプリケーション/市場

- 手術時の医師およびスタッフ支援が想定される。
- 手術用ロボット市場の世界全体の市場規模は2012年に32億ドルであり、2019年までに次世代手術ロボットの実用化も含めて約200億ドルまで成長する見込み(WinterGreen Research, Inc.)

(2) 産学連携促進の為の制度改革等新たな取組となるモデル構築

一評価指標による分析から見えてきた特徴(強み弱み)への対応
 一実証事業から抽出した産学連携体制の課題への対応

- | | | |
|---|--|----------|
| 1 | 新たな治験センターの構築
← 信頼性高い臨床研究を実施できる体制 | 産学連携制度改革 |
| 2 | ビジネス戦略会議の設置 ★
← 出口を見据えた研究の増加 | 産学連携制度改革 |
| 3 | URA制度の導入 ★
← 大型産学連携に対しては、専属の支援人材を配置 | 人事制度改革 |
| 4 | インセンティブ給与制度の導入
← 大型の産学連携・有用な産学連携活動を誘因する | 給与制度改革 |
| 5 | 特別大学院研究生制度の導入 ★
← 産学連携支援人材の確保(人材育成) | 教育改革 |
| 6 | 学術指導契約制度の新設
← 産学連携の機会を向上 | 産学連携制度改革 |

★2・3・5は実証事業で導入済み 1・4・6は平成26年度から導入が決定

評価モデルの持続的活用に向けて

- 指標の追加
 - 一より医学系の特徴を把握できる指標
 - * 「不実施補償」や「マイルストーン支払」
 - * 「先進医療の成果」(大学シーズ実用化手段の一つ)
 - 一中間的指標
 - * 大学の研究力が社会に果たす役割
- 領域を分けての実績把握
 - 「医薬品」～「医療機器」～「再生医療」・・・
- データの収集体制の整備
 - 評価モデルを用いて各大学でPDCA管理するためにも、複数大学によるデータの管理・収集、共有体制の整備要
 - ・・・medU-net等の活用

評価モデルの持続的活用に向けて

評価モデル適用の効果を大きくする上での課題

評価モデルをもとに、次年度以降に本格的にPDCAサイクルを回していくには、P(計画)とC(評価)により具体性を持たせることが必要

評価モデル適用のステップ

①企業—大学間で研究計画を共有し、②その計画をもとに中間目標を設定した上で、③その目標の達成に資する業務活動状況を管理・評価する、という3つのステップで、計画から業務まで連動させて研究管理を行う

①企業の研究計画を大学の研究計画に共有(連動)する



③成果につながる活動に対してどのような観点(進捗率や会議開催数等)で評価するかを定め、定期的に評価する

②研究計画を具体的な中間目標(成果指標)に落とし込む(いつ、どんな成果を出すか)

産学連携評価モデル・拠点モデル実証事業(モデル構築事業)

ホーム

事業の目的・概要

事業内容

PDCAサイクルの実施方法

体制

運営会議議事録

アンケート

統計データ

産学連携活動の評価制度(PDCAサイクル)のモデル構築

我が国の経済成長の源泉であるイノベーションを継続的に生み出すためには、産学が協働し、産学連携活動や産学間の人材流動化を促進する環境を整備するとともに、客観的な評価に基づくPDCAサイクルを取り組んだ産学連携拠点の構築が不可欠である。

経済産業省 TMDU
産学連携評価モデル・拠点モデル実証事業
報告会
平成26年3月3日(月) 10:00~11:55
国立大学法人東京医科歯科大学 M&Dタワー2階 観光客来訪センター
〒113-8549 東京都文京区本郷3-1-8
TEL: 03-5803-4736 FAX: 03-5803-0286